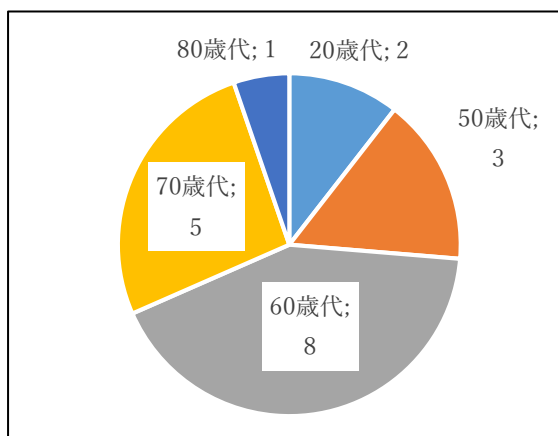


令和5年度 障害者検診事業 まとめ

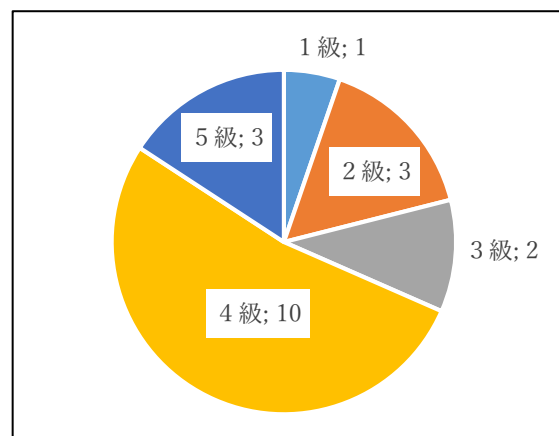
○ 実施状況

| 会場 | 実施回数 | 受検者数 |
|-----------------|-----------|------------|
| リハビリテーション支援センター | 5回 | 14名 |
| 大崎 | 1回 | 4名 |
| 石巻 | 1回 | 1名 |
| 計 | 7回 | 19名 |

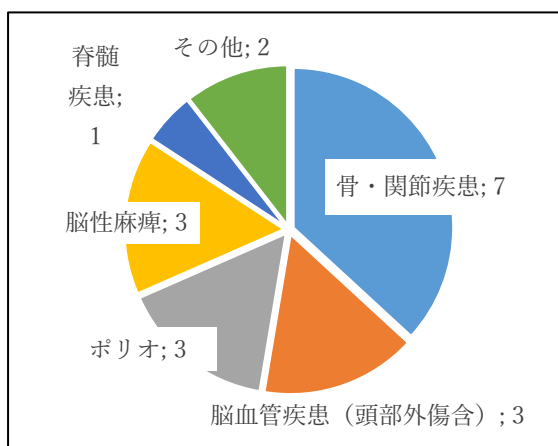
○ 年齢構成



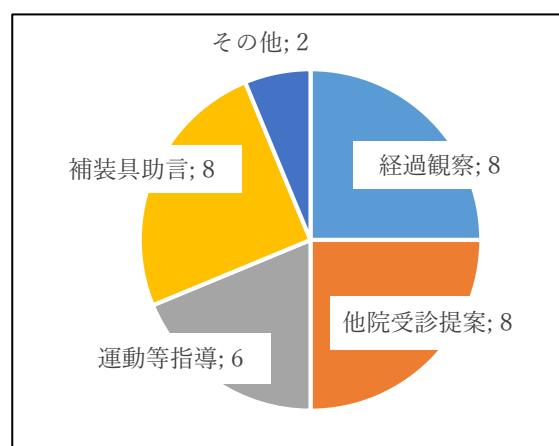
○ 身体障害者手帳の所有状況



○ 疾患



○ 医療相談における助言内容（複数）



【アンケート結果】

- 『検診は役に立った』（19名）、『現在の自分の身体状況を確認できた』（18名）
- 自由記載：「大人になりあまり身体のメンテナンスをしていなかったのが参考になった」、
「悩んでいたことを聞き、それを答えていただけで良かった」、
「装具の提案を受けられて良かった」、「装具の制度があることが分かった」

【まとめ】

- ・ 60～70歳代、身体障害者手帳4級、骨関節系疾患で、歩行やADLは自立している受検者が最も多かった。加齢による障害像の変化で現在の身体機能の確認を目的に受検したケースが多く見られ、受検者全員が「検診は役に立った」と回答している。
- ・ 受検者に対し、補装具助言、他院受診の提案をするケースが多く、医学的治療が終了した後に身体機能面の管理や早期に相談できる場所が少ない現状も依然として見受けられた。